

大豆のクサギカメムシ（新寄主）

令和7年8月、道央地域の複数の大豆ほ場において、クサギカメムシ *Halyomorpha halys* (Stål) の成虫および幼虫が確認された。発生ほ場の大豆には、莢全体の褐変、子実の吸汁害が確認された。場内ほ場で網掛け大豆への放虫試験を行ったところ、同様の被害が確認された。莢の褐変は、吸汁箇所から徐々に莢全体に広がると考えられる。成虫は体長13~18mmで、暗褐色の地に不規則な黄褐色の斑紋がある。多食性で、マメ類の他にリンゴやとうとうなど多くの果実を吸汁する。

（中央農試）



大豆上のクサギカメムシ（中央農試 佐藤原図）